

59

第 4 号

朋友

1984.HOYU



佼成看護専門学校同窓会



新教務部長のあいさつ

山崎 磨璃

いま学校で②

八重 桜

まだ若く大きな未来をもった、この佼成看護専門学校の教務部長という、ポストをいたゞいて身のひきしまる思いがしております。

教室が、われるかと思われる喚声の一年生が、ふくよかな思慮深い二年生に、そして佼成病院の実習で色々な学びを得て、皆様方の仲間として巣立っていくのを、何よりの楽しみに教師一同、手をとりあって建学の精神をどのように具現するか、努力して行くつもりです。

日本は高度成長の過程において経済成長を重視するあまり、儲け第一の行き方、考え方が強くなり、悪名高き、エコノミック・アニマルは御存知の通りです。私達は、思いきって、この価値観の転換をしなければならぬと、思っています。まず、日本には精神文化の豊かな伝統があります。失われそうになっているものを現代に生か

し、新しい創造と、心の豊かさを取りもどしたいと思っています。

アメリカのホワイト・ヘッドが教育の目的を書いています。結論として、教育を通して畏敬をしっかりと胸に刻みつける事であるといっています。これは、とりもなおさず奉仕の精神であり、愛の心であり、看護の心であると思うのです。

現在、卒業生たちが、社会の各方面で、又家庭において、才能と人物両面の信頼を受けて活躍されている事は、うれしい事です。

同じ学び舎で育った従の流れを大切にし、看護の原点を忘れないで、共に励む優秀な卒業生が、たくさん加わり、ますます発展されるよう期待しております。

学校にもぜひ足をのびして、元気な顔を、みせにいらっしやう下さい。

四月、十六期生は三二八名の中から四四名が、新しい紺色のブレザー、グレーのスカートに身を包み、新しい仲間として入学してきました。

五月、青空の下で体育祭が行われました。障害物リレー、パン食い競争、粉の中のアメを食べるお化粧レース、そして三年生が実習で鍛えた腕力を発揮するという縄引き、等々、エッ縄引きの結果です。残念ながら一年生の若さには負けてしまいました。歴史的に続いている仮装レース、今年、ベビー、おでん、河童チャップリンそして今流行のえりまきとかげなど、どの先生が化けたのかは、考えてみて下さい。最後に、メインのリレー。クラス代表選手が脚力を競います。バーンの合図と共に走り、バトンをうけ

り全力疾走、転ぶ人もいたり、声援があがる一場面です。今年の優勝は一年赤チーム、若さで押しまくりました。今日は、皆の晴れやかな笑顔で幕がおりました。



学生時代の思い出

ちよっぴり暗い青春

Ⅱ科9期生 小嶋 京子



学生時代の思い出……それは苦悩に包まれた三年間だったような気がする。勤務が主で、学業が従だと錯覚し、とにかく免許取得まではと耐えぬいた。自己の生活維持に精一杯で、クラスへの協力どころではなかったことが悔まれる。田舎より上京し慣れぬ都会での生活・勤務・興味湧かぬ基礎教科、学校の成績など眼中になく進級を心配した一学年。生活のペースもつかめ、少々の余裕のためか出席率を計算しズル休みすること〇回。知的に過ぎた二学年。初々しくピンクの実習着に身

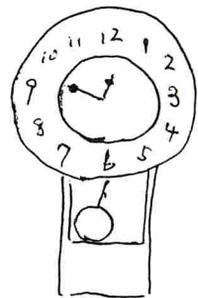
を包めども心は曇のちときどき雨。複雑な心境で経験した実習。自分だけが落ちるのではないかという一抹の不安を抱え、詰め込みのラストスパートをかけた三学年。暗くて長かった三年間。やっと卒業出来たというのが実感です。まとまりのなかったクラスゆえ、諸先生には多大な御迷惑をおかけし大変申し訳なく思っておりますが、これも若気のいたりと思ひ御勘弁を!! 話変わりますが、そろそろクラス会を開きましょう皆さん。

団参学院!?

Ⅰ科2期生 山田 陽子



私が学院に入った時は現在のような立派な建物はなく、今、佼成病院の診療センターになっている所にプレハブの校舎があり、もう一個は古い木造の建物があった。寮はどこにあったかという、富士見町の駅を降りて右斜め前を見ると大きな白い建物がある。そうです「団参会館」です。そこが私達と先輩達の寮だったのです。大きな部屋をスクリーンで二つに分け、勉強机と寝る所。消灯后勉強しようなんていう時は、布団をかぶってペンライトをつけて本を読んだ記憶もありません。朝は全員六時に起きて屋上で体操。とっても健康的な生活をしていました。今でもあの一年間の生活が忘れられなくて、昨年より我々二期生のクラス会は団参会館でおこなっています。子供達は広くて喜んで遊びまわっています。親である私達も昔の話に花が咲いています。今年もそろそろクラス会が始まります。



心に残る名言

Ⅱ科6期生 中谷千鶴子



早いもので卒業の年から数えてもう七年。

さまざまな環境の中に着実に根を張りつつあるクラスメイト、会わなくなつて久しい懐しい人達。そんな七年前のことでもはつきりと覚えているのは、最近本を出版された高木先生の教育募営である。あの辛くて楽しかった思い出は、いつも私に自然に対する人間の謙虚さを教えてくれた。 「あなた達が自然を愛しているのではない。自然があなた達を愛してくれているのだ」あの美しい自然の中でのあの言葉は名言だったと今でも思っている。

私達は本当に、看護を教科書の中に勉強せず多くの体験をもって、それを勉強と意識せずに学んできたように思う。知も技もひと

より努力して得ようと思ったことがなかった変わりに、看護のベースである「情」を育んできたのだとかと今思い、現代看護に失なわれつつあるといわれ、そして一番大切であり必要な、なかなか学校では学び得ないことを学べた幸せを、だから今頃思いおこしている。

合格の喜び

Ⅱ科1期生 岩田 幸子



梅雨の谷間に晴れわたる青空を見つけて、もうけものをした様に、洗濯、そうじと、主婦業に励む今日の私を私自身想像出来ませんでした。月日の過ぎ行くこと早くもう13年にもなります。諸先生方、学友が大変、なつかしく忘れられません。学院生活でのさまざまな規則の中で四苦八苦し、大いにはみ出した三年間、あと一息も二息も頑張っておけたらと思う今日この頃です。学院時代最後の想い出は、国家試験に合格した事です。発表をひかえた私は、あきらめと不安で群馬県の谷川岳に小見さん（旧姓近藤）と登って帰りの時刻表を見ながら学院に電話をすると「全員合格よ！」早く帰って来なさいとある方が言ってくれたその時の気持は忘れられません。苦しくて苦しくて過ぎた事が倅にも報われたのです。こんな日のため、だから頑張るのですね。

私の人生で大変な彩りになった事はまちがいありません。私も日常の家庭の中に少しずつでも、学院で得た事を活かして行きたいと思えます。

一枚の写真

12期生 西山美恵子



私のアルバムの中で、特に印象の強いものがある。それは、学生時代のもので、球技大会が終った時みんな撮ったものである。なぜ印象が強いのかと思うと、みんなの表情がとてもよくて、この写真から、今にも飛び出してきそうなどころがあるからで、ひとつの目標に向かって団結して物事をやりとげた後の喜び、苦しみがあふれているからである。実際、看護の職について二年目を迎えたが集団で仕事を行なう場合チームワークという

ものが大切であることを痛感させられた。集団での仕事をより良いものにするためには、まず自分を再度見つめなおしてみるべきだと思う。先日、私達の目に輝きがないと言われたことがあった。このことには、今までの自分を反省することができた。あの写真のみんなの顔のように、いきいきと仕事をしていきたいと思う。

同窓会の報告

I科1期生 鳥海 優子

去る11月25日(土) 新宿、ホテル東京東洋会館の「パール・ルーム」にて、看護専門学校同窓会が開催されました。

大倉チエさん、関昌さん(6期生)の司会により、鳥海優子さん(1期生)の乾杯の音頭で始まりました。今回は、遠方からの同窓生のためにもと、午後4時から実施したところ、新潟からも参加してくれました。スピーチも混え近況報告や、なつかしい友との話に花を咲かせていました。

なお、今日、長年学校のため指導をいただきました、松田教務部長先生へ、同窓会より胡蝶蘭を贈らせていただきましたので、ここに報告させていただきます。



二年ぶりの集いでした。小野田先生はじめ、今回が初めての出席の亀ヶ森先生、お世話になった諸先生方、出席者数が少なかつたのもかかわらず、こんなに懐しく歓びとなって残ったのはどうしてなんだろう?と不思議に思います。近況報告の三分間スピーチ、誰もが、学院食堂での昼食会を想い描いたことと思います。中でも印象的だったのは、毎朝早く、NHKのラジオ講座を聞きながらスペイン語を学び、奥様と二人でブラジル旅行されたということ。第一線を退られた今でも常に努力なさって活躍されている姿は、私にも躍動する「力」(少々オーバーではあります)を与えて下さいました。いつまでもお元気でありますよう。そして、二年後にまたお逢いできます日を楽しみにしております。さらに、今年卒業は13期の皆さんですネ、ほとんどお知り合いになることもありませぬ、是非より多くの方々に参加して頂いて、懐しい想い出の輪を広げていきたいものです。

アルジェリア紀行

I科6期生 齊藤 妙

ちょうど一年前、北アフリカのアルジェリアで、仕事をしておりました。現地で働く日本人の健康管理が主な目的で、日本人医師一名看護婦一名の医療チームです。このきっかけは、先にここで仕事をしていた知人の紹介によるもので、言葉に不自由なくやっていた事と海外で働ける事に魅力を感じ、飛び込んで行きました。某会社と一年半の契約を結びました。

當時を振り返ってみますと、仕事以上に、海外旅行の事ばかりに、気をとられておりました。それだけに、仕事については余裕もありました。新入国者へのオリエンテーションでは、ここがとても肝心なのです。激しい下痢に罹りやすいので、生水の飲用禁止、地中海性黄疸の予防にて、刺身にして生魚を食べないように、日本と違う点は、サソリやマムシ魚があるので、標本を見せて説明したり、予防注射などを施行したりしました。医薬品のすべては、日本からの輸送で、現地の医療水準は低い為に、手におえないものは、パリの病院へ、送ったりしました。

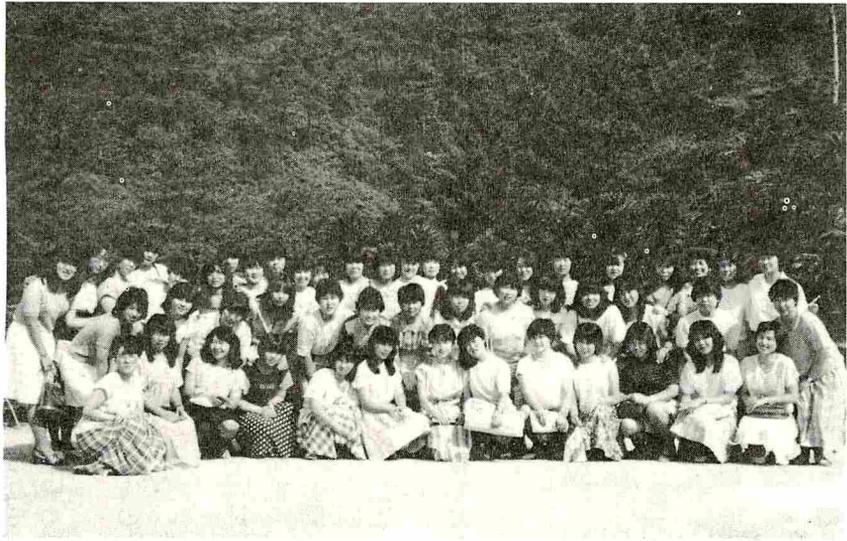
化学工場プラントで働く日本人は、アルジェリア人の指導という立場で、約二百名程おりました。言葉は、日本人の通訳がおります。アルジェリアは、民主人民共和国で人種は、アラブ人とベルベル人の混血が主体で、宗教はイスラム教です。公用語はアラビア語で、その他にフランス語が通用されており、通訳とは、フランス語で会話をしています。



私の住んだスキクダ市は、フランスの植民地時代は、別荘の並ぶ避暑地でした。地中海のすぐ上の高台に、日本人村があり、六・七・八月になると、海岸には、フランス・イタリアから、バカンスで多くの人が訪れます。

国内旅行では、雨季の頃、サハラ砂漠旅行ローマの遺跡めぐりに、出かけました。サハラは乾季に行くには暑過ぎて、現地の運転手が嫌う為です。砂漠はラクダがよく似合い、夢中でシャッターを押ししたりしました。来る日も来る日も砂の中で、のどの乾きを覚えるようです。アルジェリアって広いなあ、こせこせ働く私達が、あわれに思えてきました。

休暇の計画がうれしくて、海外には、パリに七回行き、ベルギー、オランダ、イタリア、ギリシャ、スペインにと、旅行に出かけました。行く先々での、特産物を主に食べながらの旅です。イタリアのピザ、スパゲティ生ハム、ミネストロースープのおいしさに、目を丸くし、ギリシャのムサカは、まあまあ、スペインのパエリアは、おいしくないなあと思っても三回程食べ続け、フランスのエスカルゴ、ファグラ、生かきはとても、口に合いました。言葉がもっと話せたら、もっともつと、おいしい物を食べられたでしょう。ワインの種類も知っていたら——私の海外体験は、ほんの少しのみほしただけです。無事終了できた事は、今となっては、最大の喜びです。



同窓会の皆様、初めまして、私達十三期生四九名は、今春、努力の末無事卒業する事が出来ました。晴れて同窓会の会員として入会させて頂きます。

今年は大部分が佼成病院に入職、数名は自分の志ざす病院又は進学をし頑張っています。入学当初より勉強その他では諸先生方に御心配をかけた事もありますが、一つの難を越える毎に絆は一層深まりました。まだ仕事には慣れていませんが、学生時代に培われた精神と忍耐で、あらゆる困難を乗り越えていけると思っています。さらに、仕事に加え他方面に目を向け、視野を広め良き女性・妻・母親を目指します。

まだまだひよ子同然の私達ですが、どうぞよろしく願います。



PRコーナー

「看護用具の研究」

亀ヶ森 清子

A5判 / 244頁 / 2500円

日本病院共済会発行

皆様の出版された本等がありましたら、ここでPRしたいと思います。一報下さい。

募集？

★同窓会の名称を募集しています。

わかりやすく、親しみのもてる名称にしたいと思っておりますので、アイディアを送って下さい。

★同窓会の書類等事務整理をして下さる方をさがしています。時給で支払います。

ご希望の方は一報下さい。

前夜祭のおさそい

看護学校では早いもので十月十八日で、創立十六年目を迎えます。

それを祝って十七日に学術祭(九時～) 前夜祭(四時～)を行います。

模疑店や寸劇等もありますので、もしよろしかったら見に来ませんか。

そして、思い出の一時を持ちませんか。

同窓会会計報告

会費納入（郵便振替口座）も皆様の御協力の御陰をもちまして、だいぶ増え、同窓会の運営も軌道に乗ってまいりました。これで、やっと同窓会として一人立ちし、足並揃えて活動できるようになりました。

しかし、残念なことに滞納されている方の数も少なくありません。どうか今後の本会の発展の為に御協力をお願い致します。つきましては今回も「払込通知票」を同封致しましたので、そこに書かれてある金額を、お近くの郵便局に御支払いださる様、お願い致します。尚、前回までの滞納分は、今回の分に加算されますので御了承下さい。また、住所変更・勤務変更・改姓等がございましたら、通信欄に御記入下さるよう、重ねてお願い致します。

昭和58年度決算収支報告 (S57.4~S58.3)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	433,959	経費	577,695
同窓会費	1,043,250	通信費	70,070
13期生	98,000	印刷代	151,000
15期生	106,000	慶弔見舞金	35,000
O・B	833,450	雑費	2,500
寄付金(12期生より)	11,869	消耗品	25,635
第2回同窓会費(6,000×24名)	144,000	委員会運営費	11,490
第2回同窓会祝金	55,000	第2回同窓会会場費	282,000
預金利息	2,168	次期繰越金	1,106,751
		現金	91,653
		銀行	175,848
		郵便局	839,250
合計	1,684,446	合計	1,684,446

役員名簿

会長 (I-1) 浜田みどり
 副会長 (II-1) 菱沼義恵
 書記 (I-1) 今西潤子 (I-4) 塚田陽子
 会計 (I-1) 細谷恵美子 (I-4) 遠藤裕子

I 科	氏名(旧姓)
1 期生	今西潤子(日浦)
2 期生	篠原夏子(小沢)
3 期生	鶴園真理子
4 期生	遠藤裕子(南野)
5 期生	鳥光令子(荒川)
6 期生	山田郁代(松岡)
7 期生	小島啓子(高倉)
8 期生	斉藤悦子(小長谷)
9 期生	西崎知世子(湯川)
10 期生	宮沢裕子(池之上)
11 期生	石井真由美
12 期生	小尾貴美子
13 期生	富田明美
II 科	氏名(旧姓)
1 期生	小見道子(近藤)
2 期生	矢部美智子
3 期生	香水好江
4 期生	柳沼みち子
5 期生	村松美邦(板倉)
6 期生	稲垣由美子(鷲尾)
7 期生	小曾根富美江(小宮)
8 期生	朝妻晴美
9 期生	井上幸江
10 期生	相田千秋
	勝田千代子(吉田)
	荻原美千代(川上)
	塚田陽子(須藤)
	有路江津子(庭野)
	関昌子
	坂口隆世
	石田由美(五十嵐)
	原田由美
	堀越佳子
	池下靖子
	伊東克枝
	鈴木佳代子(久保)
	大塚早智子(遠藤)
	鈴木加代子(西川)
	長壁きみえ
	田地野光江(北川)
	山口悦子
	大森ケイ子
	新井里枝子

学校事務局より

証明書が必要ときは、証明書交付申請書(用紙は事務室に備付)を提出していただくことになっていますが、遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、石、郵便番号を記入同封し、必要事項を手

紙に書いてお申し込みください。なお成績証明書については、提出先へ直送することになっておりますので、返信用封筒には、提出先の所在地、名称などをお書き下さい。

手数料は下記の通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

送り先 〒166 東京都杉並区和田一ノ三ノ十四

校成看護専門学校事務係

電話 (03) 三八四一六一

尚、住所変更、改姓された方は、必ず連絡下さい。郵便でも電話でも結構です。郵便物が時々届き、転送するのに困っております。

編集後記

同窓会誌「朋友」

第四号も、皆様の御協

力で無事完成することができました。まことにありがとうございました。

企画、原稿集め、編集、校正、印刷、

発送などの仕事を通し、懐かしい皆様の写

真を拝見しているうち、自分達の思い出と

重なり、三年間の学生時代の貴重さをか

みしめています。

この思いを、第五号、第六号と：これ

からにつなげていき、朋友を、卒業生の

活発な交流の場としていつまでも残して

いきたいと思えます。(有路)

同窓会事務局

〒166 東京都杉並区和田一ノ三ノ十四

校成看護専門学校同窓会事務局